

那議第39号
令和7年9月25日

那須町長 平山幸宏様

那須町議會議長 齋藤則人

令和8年度予算編成における要望書

那須町議会では、この度、予算・決算審査や議会報告会（意見交換会）、所管事務調査、行政視察等を通じて町民等から寄せられた意見等のうち、新年度において予算化が必要な事項を下記のとおり取りまとめました。

人口減少、少子高齢化、物価高騰などの様々な行政課題への対応から、町財政が厳しいところではありますが、地方自治における二元代表制のもと町民の声を代弁する機関として、那須町議会の総意として提出するものでありますので、ぜひともご検討のうえ、令和8年度予算に反映していただきますよう要望いたします。

記

- 森林においてシカなどの鳥獣被害が拡大しているため、森林環境譲与税を利用した野生獣森林被害防止対策事業費補助金制度を早急に創設すること。
- 那須町でもイネカメムシの確認がされており、発生量が増加傾向、斑点米や不稔被害のおそれがあり対策が急務になっている。出穂期に合わせた適正防除を推進するため農家への支援として、農薬購入費の一部を補助する予算を要望する。
- クマやイノシシの目撃情報や被害が増加しているが、捕獲用の箱ワナが不足している。早急に箱ワナの製作の予算を確保し、製作に取り組むこと。
- 地球温暖化による異常な暑さ対策のため小中学校の環境整備のひとつとして、令和7年度予算編成における予算要望で冷水器の設置を要望したが、現在未設置の状況である。今年は観測史上最高気温を記録するなど更に異常な暑さであるため、引き続き冷水器の設置を要望する。
- 福祉タクシー料金助成事業の対象者条件緩和は、後期高齢者福祉の向上と定住促進に繋がる施策と考える。同事業の対象者を、同居等の親族がいない75歳以上の人、同居等の親族がいるが外出支援が受けられない75歳以上

の人及び同居等の親族による外出支援が困難な75歳以上の人とする条件緩和を要望する。

- 6 生きがいサロン運営者からは、「施設の修繕費など推進事業費補助金の対象ではないが運営上必要な経費があり、最終的に運営者自身が負担することになる。」との声がある。補助対象の改善と補助金の増額を要望する。
- 7 議会活動、委員会活動において調査研究を支援するための参考図書充実のため、議会図書費の確保を要望する。
- 8 議会運営において、副議長、委員長といった役職は重要な役割を担い報酬額の差違も必要であるが、今回の報酬額の見直しでは公務として行事に参加するための報酬見直しを検討したが、費用は別途確保することとなった。そのため、これらの役職に、その役割を考慮して活動を補助する負担金の確保を要望する。
- 9 友好都市交流は文化、経済、教育、防災等幅広い分野で交流を深めるもので、殺生石伝説つながりや、特に御用邸つながりで「御用邸所在地友好都市協定」を締結し、議員間交流も深めている。更に、今後も政策等の情報交換のためにも訪問団の受け入れ、派遣など友好都市交流が円滑に行えるように議員研修費の継続を要望する。

■問合せ

那須町議会事務局 高藤 TEL: 72-6926 (内線 411)